

ぼくは人生という道を走っていた  
 そしたら君達にぶつかっただ  
 そんな日々は大切な人を気づかせて  
 くれた  
 生きる意味は自分のためだと  
 大切な人はいつもそばにいてくれた  
 不安な時も大変な時も  
 うれしい時も困った時も  
 一緒にいる事で不安がふっとんだ  
 本当の強さは  
 力でもなく言葉でもなく  
 思いやりなんだと  
 そんなぼく達は  
 きつとつながっていると感じた

鹿追町鹿追小学校六年生（平成25年時）  
 奥田聖君の「人生出会い」という詩です。  
 皆さんはどんな出会いがありましたか？  
 私たちはみんな繋がりの中で生きています。  
 好きな人はもちろんですが、もしかしたら、  
 嫌な人も大切な人かもしれませぬ。

卒業やクラスが変わって、お友達と離れるかもしれませぬね。

でも、新しい出会いも待っていますよ！

長沼町 誓報寺 天野敦子